

# カリキュラム・マップ

## 全学共通科目の教育目的

人類が過去から現在に至るまで築き上げてきた学術的知見を、広くかつ多様な観点から学習させるとともに、所属学部において専攻する学問領域の豊かな成果と交錯させながら、コミュニケーション能力や異文化への深い理解と世界に通用する知性を涵養し、自らの力で新たな課題を探究し、解決することができる学生を育成する。

## 学修成果

学びの精神では、立教大学設立理念の一端に触れ、自ら主体的に学ぶ姿勢を身につけ、大学での講義科目受講の包括的スキルを体得する。→(1)(3)(5)  
 多彩な学びでは、学問的知見の多様性と豊饒性を理解し、他の諸学問の成果を交錯させることで、世界を複眼的に解読する柔軟な知性を涵養する。また、スポーツ実習では、心身の健康増進を目的とした科学的知識を理解し、スポーツの実践をおとした体力の維持・向上、運動習慣を醸成する。→(1)(3)(5)(6)(7)(8)(9)

※( )内は「立教大学学士課程教育の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載。

全学共通科目のカリキュラム				全学共通科目の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)								
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1.リベラル アーツの素 養	2.専門性	3.自己を理 解し発展さ せる力	4.キャリア展 望を確立す る力	5.他者を理 解する姿勢	6.表現力	7.リーダー シップ	8.国際性	9.社会的実 践力
学びの精神	(必修) 選択 科目	1(～4)	講義を受けた上で、その要点を理解して自らの考えを練り、リアクションペーパーや小レポートでそれを表現するという、高校までの勉強とは異なる大学での講義科目受講の包括スキルを体得する。	◎		○	△	○				
多彩な学び 1. 人間の探究	(必修) 選択 科目	1～4	思想・文化・言葉という側面から人間の知に迫る。過去に書かれたさまざまな文献を読む、あるいは現代社会に広がるさまざまな事象を集め、そこから考えることで、現代人に求められる「教養」とは何かを問い、それを自らのものにする。	◎		○		○			△	
多彩な学び 2. 社会への視点	(必修) 選択 科目	1～4	社会という側面から人間の営みに迫り、個人と社会、他者との関わり方を、政治・法学・経済学・経営学・社会学などが築いてきた方法を手がかりにして分析する。社会をひとつの視点から見るだけでなく、さまざまな角度から見つめ直していく視点を身につける。	◎		○		○	△		△	
多彩な学び 3. 芸術・文化への招待	(必修) 選択 科目	1～4	人類が生み出してきた文学・美術・音楽・演劇・映像・建築などの作品を対象として、作品の作り手と受け手との緊張をはらんだ関係、あるいは作品を取り巻く社会的諸関係の実相に迫る。	◎		○		○	△			
多彩な学び 4. 心身への着目	(必修) 選択 科目	1～4	相互に影響しあっている「心」と「身体」の問題を幅広くとらえ、心理学、メディア、健康科学、スポーツ科学の分野から理解を深め、積極的に心身の問題を掘り下げて理解する。	◎		○		○	△			
多彩な学び 5. 自然の理解	(必修) 選択 科目	1～4	人類が作り出してきたさまざまな物質や技術は毎日の生活に大きな影響を与えており、人類が今までの歴史の中で得てきた科学的な知識とその基盤、およびそれらが現代の私たちにどのように密接に結びついているのかを考える。	◎		○		○				
多彩な学び 6. 知識の現場	(必修) 選択 科目	1～4	大学の内外で作業を行う知的活動を通して、問題解決能力を養うとともに、現場経験から知識が構築されるプロセスに立ち会う。立教大学の社会的な使命や課題を強く意識した全学的な取り組みのために設けられている科目群で、学外とくに海外でさまざまな実践活動に携わろうとする学生が、そうした活動を学業の一部に取り込むことが可能となる。	◎		○	△	○		○	○	◎
スポーツ実習(スポーツプログラム)	(必修) 選択 科目	1～4	健康を維持・増進させるための科学的知識を理解し、スポーツの実践を通じて健康づくり、運動不足の解消、体力の向上を目指す。	◎		○		○				
スポーツ実習(スポーツスタディ)	(必修) 選択 科目	1～4	スポーツは言語や国境を越えて人類が今日まで築き上げた文化であり、国際人の基礎教養として、あるいは国際交流の手段として、その役割は大きい。スポーツの文化的側面を理解し、同時にその実践を通じて現代人に必要とされるコミュニケーション能力、バランスのとれた理性的な確かな判断力を養成する。	◎		○		○				